



様式1(主な取組)

活動指標名	助成園児数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	33	44	54	41	42	26	100.0%	25,346	順調	<p>障害のある幼児が在籍し、その特別支援教育に取り組んでいる私立幼稚園に対し、障害のある幼児の在籍数に応じて補助を行い、特別支援教育を担当する教員の配置や、教材の充実を促している。また、発達のご案内になる幼児についての相談体制を整備するため、巡回アドバイザーを活用するよう周知を図っている。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>計画値26人に対し、助成園児数42人となっており、順調に取り組んでいる。障害のある幼児が在籍し、その特別支援教育に係る経費に対して補助を行うことで、特別支援教育を担当する教員の配置や教材の充実が促進されている。また、当該事業を活用してもらうために、発達のご案内になる幼児についての相談先として巡回アドバイザーを活用するよう周知することで、私立幼稚園における専門的なサポートが図っている。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や巡回アドバイザー等の情報提供を速やかに行う。</li> <li>・巡回アドバイザーを活用している園の取組事例等を各園に紹介し、まだ活用していない園に対し活用を促す。</li> <li>・障害のある幼児やその保護者を総合的に支援するため、幼稚園だけで対応を行うのではなく、市町村や対象機関との連携を引き続き促す。</li> <li>・補助事業についての説明会を行う。</li> </ul>								<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、特別支援教育の研修や巡回アドバイザー等の情報提供を行った。</li> <li>・市町村や支援機関等の連携状況を確認し、連携を促した。</li> </ul>		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・巡回アドバイザーや各関係機関、園内研修等を通じて、子どもたちへの理解や支援の体制が深まった。

##### ○外部環境の変化

・発達障害の疑いがある幼児の保護者が、診断してもらうことを拒むことが多々あり、保護者の理解が得られないため、補助の要件である障害を有することの根拠資料(診断書や意見書)の提出ができず、園に補助できない事例がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・研修の情報提供の迅速化や、巡回アドバイザーの活用を定期的に促す必要がある。
- ・巡回アドバイザー等の活用により、保護者に対し、園や教諭の主観的な意見だけでなく、専門的な知見からの所見等を伝える必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・特別支援教育の研修や巡回アドバイザー等の情報提供を速やかに行うとともに、巡回アドバイザーを活用している園の取組事例等を各園に紹介し、まだ活用していない園に対し活用を促す。
- ・障害のある幼児やその保護者を総合的に支援するため、幼稚園だけで対応を行うのではなく、市町村や対象機関との連携を引き続き促す。